

船舶事故等調査報告書

平成24年11月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第32号
事故等種類	転覆
発生日時	平成24年7月14日（土） 15時30分ごろ
発生場所	沖縄県恩納村部瀬名岬南西方沖の浅礁域 沖縄県名護市所在の琉球名護港南防波堤灯台から真方位225° 4.7海里付近 （概位 北緯26°31.7′ 東経127°55.2′）
事故等調査の経過	平成24年7月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーモーターボート K A I、5トン未満（長さ3.24m）
船舶番号、船舶所有者等	296-3739沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	船首及び船尾に擦過傷、船外機濡損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、釣りを終えて部瀬名岬南西方沖の浅礁域を南南西進中、平成24年7月14日15時30分ごろ磯波を受けて転覆した。 船長及び同乗者は、泳ぎながら本船を押ししていたところ、転覆を目撃して来援した者の水上オートバイに救助された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風力 4 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期
その他の事項	船長は、ふだん恩納村名嘉真の船置き場に本船を置いており、地元の人に船置き場から出入りする水路を教わり、その水路を航行していたが、本事故当時は燃料の残量が少なかったこともあり、教わった水路を航行せず、近道をしようと浅礁域を航行したところ、突然、本船の左舷前方に波高約1.5mの磯波が立ち、これを受けて転覆した。 船長及び同乗者は、いずれも救命胴衣を着用していた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、部瀬名岬南西方沖を南南西進中、船長が近道をしようと、浅礁域を航行したことから、磯波を受けて転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、部瀬名岬南西方沖を南南西進中、船長が浅礁域

	を航行したため、磯波を受けて転覆したことにより発生したものと考えられる。
--	--------------------------------------